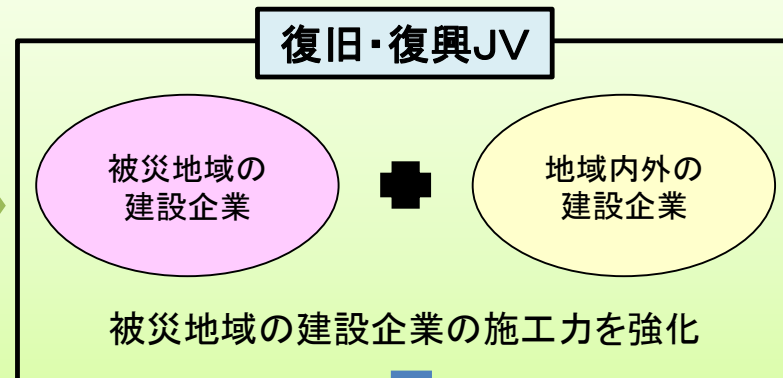


被災地域

- ・近年、災害が激甚化・頻発化。大規模災害の被災地域では、平常時と比べて建設工事需要が突発的に著しく大きくなる。
- ・被災地域内の企業単体では施工体制を確保できなくなり、不調・不落の発生率の上昇等により迅速な復旧・復興がなされないおそれ。



復旧・復興JVをJVの類型として位置付け、被災地域における施工体制を確保

復旧・復興JVの主な特徴

- ① 性格
大規模災害からの円滑かつ迅速な復旧・復興を図るため、技術者・技能者の不足や建設工事需要の急増等への対応として、地域に精通している被災地域の地元の建設企業の施工力を強化するために結成される共同企業体
※ 被災地域内の企業単体のみでは施工体制を確保できない状況にある期間において活用
- ② 工事の種類・規模
大規模災害^(※1)からの復旧・復興工事とし、大規模な工事と技術的難度の高い工事^(※2)をのぞく
※1 激甚災害として指定された災害その他の特に激甚な災害 ※2 WTO対象工事及び特定JV対象工事
- ③ 構成員の組合せ
同程度の施工能力を有する者の組合せとし、被災地域の地元の建設企業を少なくとも一社含む
- ④ 共同施工（甲型）の技術者要件
工事規模に見合った施工能力を有する構成員が技術者を専任で配置する場合は、他の構成員の技術者は兼任可
- ⑤ 代表者
原則として、地元の建設企業